

第30回 尾道市長旗争奪中学硬式野球大会競技要項

第1項 試合形式

(1) 第1日目 8会場、各3チームに分かれて予選リーグ戦(勝点制)

決勝トーナメント戦進出は、勝ち点の多い上位4チームとする。尚、勝ち点と同じときの順位は、「①総失点 ②得失点 ③総得点 ④抽選」の順によって決定する。

※勝点は、4回迄にコールド勝利=5点・5回以降コールド勝利=4点
勝利=3点・引分=1点・敗退=0点 とする。

第2日目 ①準決勝・決勝戦(3位決定戦は行わない)

②予選敗退チームによる交流戦

(2) 試合は7回戦とする。但し、3回以降10点差、5回以降7点差をもってコールドゲームを採用する。(準決・決勝も同様) 又、熱中症対策として4回裏終了時に休憩(5分間)を挟むこととする。(時計は止めない)

(3) 予選リーグ戦は、時間制を採用し試合開始後2時間を経過して新しいイニングに入らないこととする。7回終了、又は時間切れ同点のときは引き分けとする。

後攻チームがリードしている場合、裏の攻撃は実施しない。

準決勝・決勝も予選と同様の時間制を採用する。7回終了、又は時間切れ同点のときはタイブレーク(1死満塁、最長2回)を行い、さらに同点のときは監督又はコーチ1名による抽選で勝敗を決定する。(延長戦は行わない)

(4) 投手の球数制限(リトルシニア版)を適用する。

投球確認シートは本部で準備することとする。(記録は自チームで行う)

(5) 各球場のグラウンドルールは試合開始前に各会場の大会実行委員より説明を行う。

(6) 第1日目に於いて、試合前のシートノックは行わない。(サイドノック可)

第2日目の準決勝戦前のみシートノックを行う。(7分間)

(7) ベンチは組合せ表の左側が1塁側、ロージンは両チームで用意する(感染対策)、ボールパーソンは両チーム2名とする(原則ベンチ入り選手とする)

(8) 試合終了後、30分以内で次試合を開始することとする。

第2項 運営形式

(1) 審判について、第1日目は、各チームに審判等(自チーム試合)をお願いします。

組合せ表内、チーム名表示をご確認ください。

縦 ⇒ 球審・2塁塁審、BSO

横 ⇒ 1・3塁塁審、スコアボード

第2日目(準決・決勝)の審判等は主催者が行います。

※交流戦の審判等は、対戦チーム同士で協議の上、お願いします。

(2) アナウンスは各チーム(自チーム試合)で行ってください。

(3) 審判へのお茶出しは各チーム(自チーム試合)で行ってください。